

## 令和7年度浜須賀中学校学校重点目標

(1) すべての生徒、教職員が安心・安全に過ごせる学校

- ①他者と関わり、互いを認め合う心の育成
  - ・学級活動、生徒会活動、行事などにおいて、集団の中で個が生きる活動の推進
  - ・道徳(全校道徳も含む)による心の育成
- ②生徒指導から生徒支援へ
  - ・報告・連絡・相談の徹底。
  - ・公正・公平な「傾聴」→「記録」→「対応」・・・チームで関わる
  - ・「なぜ、自分が間違っただけの行為をしてしまったか」生徒が納得し、先に進める指導・支援を目指す。
- ③いじめ未然防止・いじめ防止対策の推進「いじめをしない・させない・ゆるさない」の徹底
  - ・いじめの早期発見→いじめ防止アンケートの活用・教育相談の充実
  - ・いじめが起こったときの迅速な対応
  - ・いじめ防止活動の見直しや道徳教育の推進
- ③不登校の未然防止・
  - ・個別支援を通じた居場所づくり→ SR（スペシャルルーム）・心の教育相談室の活用
  - ・SC、SSW との連携
  - ・外部機関との連携
- ④教育相談体制の充実
  - ・全教員体制でおこなう。
  - ・学校生活アンケートの効果的な活用
  - ・日常の中での観察や丁寧な声かけを大切にする→気づきをチームで共有
  - ・教育相談コーディネーターを通しての外部機関との連携
- ⑤あいさつの推進
  - ・まずは教職員から生徒たちへのあいさつを
  - ・生徒会を中心としたあいさつ運動の奨励
- ⑥安全教育・防災教育（避難訓練・防災訓練など）の充実
  - ・学校防災計画の見直し
  - ・より実践的な避難・防災訓練の推進

## (2) 授業の学びを将来に生かせる学校

- ① 学習環境の整備
    - ・清掃活動の充実・教室環境・校内環境の整備（大規模改修1年目）
  - ② 授業規律の確立
    - ・開始、終了時刻の徹底・「聴く」「話す」姿勢の向上・タブレットの適切な扱い方の指導
  - ③ 主体的に取り組み、学びが深まる授業づくり
- 校内研テーマ「生徒が主体的に学習に取り組むための授業の工夫～単元計画を生かした授業改善」
- ・基礎的、基本的な知識および技能の習得
  - ・本時の目標・授業の流れの提示
  - ・「浜スタプラン」（教科の単元計画）を元にした学びの見通し、振り返りができる授業づくり
  - ・タブレット、学びあいを効果的に取り入れる授業
- ④ 校内研を通した積極的な授業研究
    - ・教師同士が日頃より授業を見合い、学び合う環境づくり
    - ・「浜スタプラン」の確立
    - ・学習指導講座等の授業研究会への参加の奨励

- ⑤信頼性・妥当性のある学習評価に努める→指導と評価の一体化を目指す。
- ・教科ごとに学習計画・評価計画を見直し、作成する
  - ・評価規準・評価方法の見直しに努める
  - ・生徒・保護者に対して学習評価についての分かりやすい説明を心掛ける

### (3) 互いの違いを認め合い、高めあい、支え合える学校

#### ①インクルーシブ教育の推進

- ・生徒、教職員共に多様性を理解し、互いを認め合い、支え合う教育活動を進める。

#### ②支援教育の充実

- ・個に応じた多様な支援の充実
- ・必要に応じた「個別支援計画」の作成（特別支援級は必須）
- ・教職員の研修会の開催

#### ③週 1 回の支援会議（校長・教頭・生徒指導担当・教育相談コーディネーター・各学年生徒指導担当

- ・養護教諭・SC・SSW）による生徒指導、支援情報の把握と対応の共有

#### ④外部機関との連携（中央児相・子ども家庭センター・青少年教育相談室等）

### (4) 保護者、地域と共に生徒を育てる学校

#### ①保護者との信頼関係づくりに努め、常に子供の成長を支えるという共通認識の元に協力しあう

#### ②保護者、地域への学校からの情報発信

- ・学校便り・学年便り・HP・正門掲示板・COCOOなどを活用し、学校からの情報発信を心掛ける
- 生徒、保護者両方に伝えるべき情報については紙、COCOO 両方を利用する

#### ③学校運営協議会・推進協との連携（学校支援・地域実践研究校（R8））

- ・学校運営協議会では学校、地域で生徒の校内外の生徒の様子を情報交換し、互いが無理なく協力し合える行事、取り組みをめざす。
- ・浜須賀・松浪・緑が浜推進協の会合には企画会メンバー中心に交代で参加し、学校からの情報発信をする

#### ④生徒、保護者ボランティアによる地域の行事の参加の推進

- ・ボランティアカードを活用し、生徒が主体的に取り組めるよう促す。